

2023 環境経営活動レポート

第18版(取組期間:2023年10月～2024年9月) 2025年4月26日発行



2025年1月19日 実業団駅伝大会で準優勝



有限会社 南薩東京社

コンセプト

「クリーンな水を自然に戻そう」

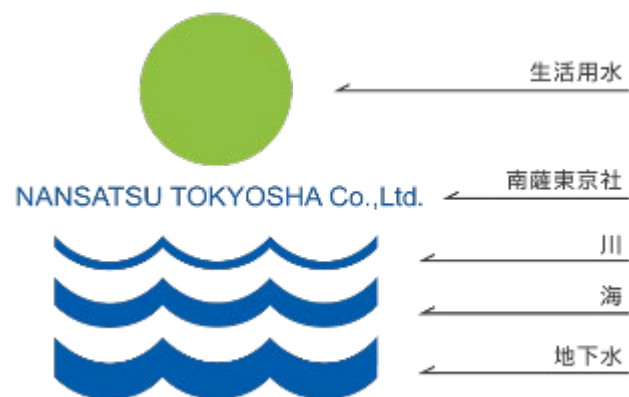
環境の汚染が問題になっている

昨今、今何が一番大切だろうか？

このマークは、人が汚した生活用水を南薩東京社を介して自然に戻すことを表現しました。(グリーン)

下の3つの波は、川と海と地下水を表現しています。(ブルー)

また波はリズムカルなカーブで自然と水が喜んでいることを表し、人間と自然のために重要な役割を果たしていることをシンボライズしました。



会 社 概 要

国際的なキーワードとなっている「接続可能な発展」を目指し、長期的なレンジに立った構想と社会作りを確立することが重要になりました。また、複雑な原因が絡み合う環境問題は、個人・企業・行政が一体となり取り組み、地球的規模で解決することが求められます。美しく豊かな地球と快適な生活環境を次世代に手渡すために、英知と先進技術を結集していくことが必要です。そのため、南薩東京社は、環境にかかわるさまざまな分野で積み上げた実績と技術を駆使して、人と環境のよりよい関係をつくるため、廃棄物・エネルギー・大気・水・環境サービスにわたり、トータルソリューションを実現します。

会社概要（認証登録範囲）

事業所名 有限会社 南薩東京社

所在地
・本社（南薩西部リサイクルセンター、ゴミ中継基地、産業廃棄物積替え・保管場）
鹿児島県南さつま市加世田村原 3700 番地 1
・ふくずみの湯＜2024 年度より拡大予定＞
鹿児島県日置市吹上町湯之浦 2525

代表者 松尾 隆寛 ・ 鳥越 智愛

連絡先 電話 0993-53-5100 FAX 0993-53-7179
E-mail info@nansatsutokyosha.com

事業内容 浄化槽の保守点検及び清掃業、し尿汲み取り業、
一般廃棄物及び産業・特別管理産業廃棄物収集運搬業、
産業・特別管理産業廃棄物中間処理業、一般廃棄物中間
処理業（委託）、宅地建物取引業、温泉事業
ソーラー事業（売電・ソーラーシステム販売及び設置）

事業規模 資本金 3 百万円
従業員数 88 名(アルバイト、パート含む)
売上高 1,198 百万円(2023 年 10 月～2024 年 9 月)
一廃・産廃 収集運搬実績：49,723t 中間処理実績：1,373t

法人設立年月日 昭和 43 年 9 月 1 日

事業年度 10 月 1 日～翌年 9 月 30 日

環境管理委員長 松尾 隆寛（代表取締役社長）

環境管理副委員長 片平博徳（取締役部長）・松尾 優太朗（総務部次長）

環境管理責任者 鮫島英司

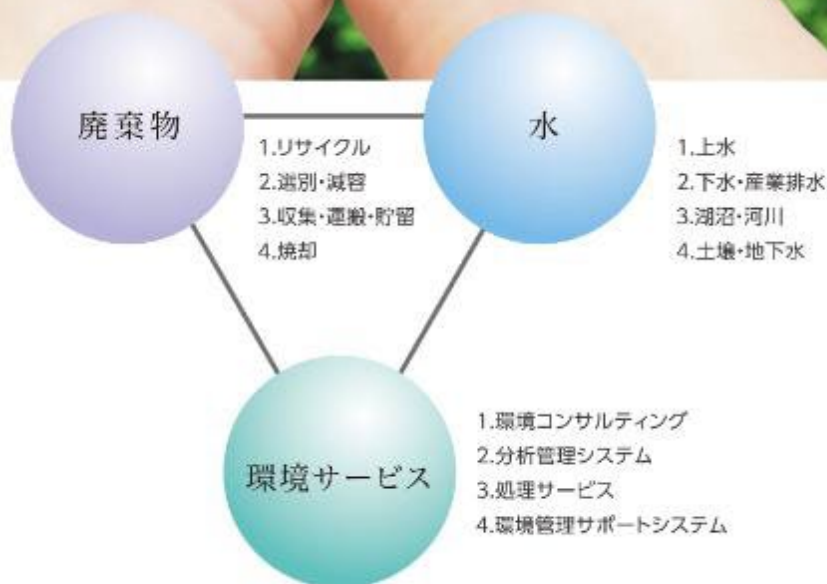
環境管理委員会 鎌倉充宏・浅賀卓也・千知岩紀博・小田明・永田亮

戸床俊樹・仮屋香子



人と環境の、よりよい

関係をつくるために



わたしたちは、トータルソリューションを実現します。

美しく豊かな地球と快適な生活環境を次世代に手渡すために、英知と先進技術を結集。国際的なキーワードとなっている「持続可能な発展」を目指し、長期的なレンジに立った構想と社会作りを確立することが重要になりました。また、複雑な原因が絡み合う環境問題は、個人・企業・行政が一体となり取り組み地球的規模で解決することが求められます。

南薩東京社は、環境にかかわるさまざまな分野で積み上げた実績と技術を駆使して、人と環境のよりよい関係をつくるため、廃棄物・エネルギー・大気・水・環境サービスにわたり、トータルソリューションを実現します。

維

Maintenance

浄化槽保守点検

適切な維持管理で生活排水をクリーンな状態に。



私たち浄化槽保守点検の仕事は、環境省令に基づく点検を行っております。浄化槽の技術基準及び性能を正常に維持し、適正な水質を確保しております。その為日々の点検調整を行い公共水域の水質保全、生活環境の向上に努めております。



浄化槽清掃

浄化槽の機能を改善し自然環境を守る。



清掃課はスカム、汚泥の抜き取り、浄化槽清掃が主な仕事です。弊社が2台所有する濃縮汚泥車により、処理場への投入量が抑えられ、エコ対応、経費削減の効果がります。今後も綺麗な水を排水出来るようしっかり清掃してまいります。

運

廃棄物処理業
1



一般廃棄物収集・運搬

万全の管理体制で廃棄物を安全に収集・運搬



収集課は弊社の基本である汲取り業務を行っております。パネル型バキュームカーになり、各地域のイベント、名所などの風景をパネルに掲載し地域のPR活動を行っております。

適

Proper

廃棄物処理業 2

ゴミ中継基地

適切な資源管理で、様々なコストの増加抑制と削減



ゴミ中継基地では、南さつま市（坊津を除く）の可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを受け入れています。受け入れたごみを品目や素材ごとに分別し、清掃センターまで搬出します。また、家庭で不要になったごみの収集業務も行っております。

環

その他 紙

recycling

(奥から詰めて下

南薩西部リサイクルセンター

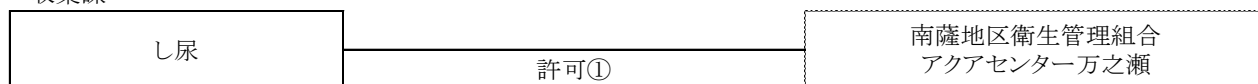
大切な資源を有効活用し地域循環型社会形成を推進



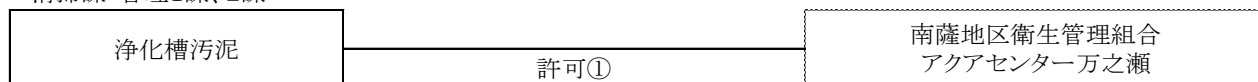
リサイクルセンターでは、家庭から集められた資源ごみを選別、圧縮して指定再生事業者に出荷しています。資源品目のひとつで廃食油においては、再生燃料化装置を導入し軽油代替燃料を精製してごみ収集車や重機に使用する事で資源の有効利用を行っております。

1. 直接収集運搬

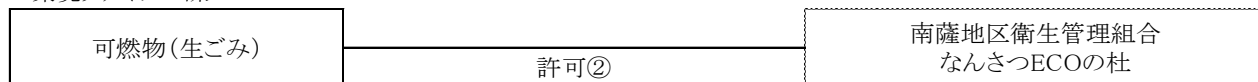
収集課



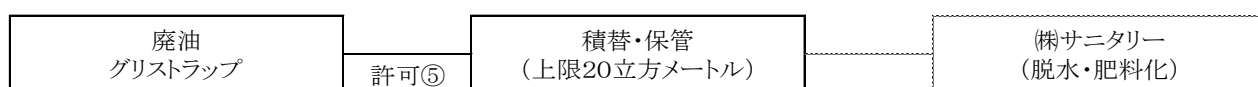
清掃課・管理1課、2課



環境リサイクル課

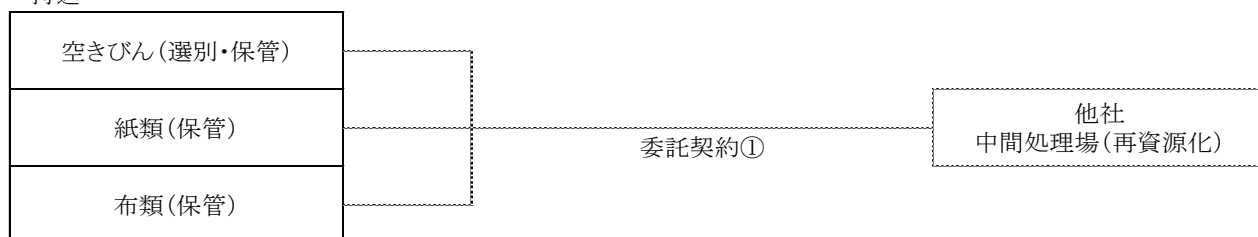


2. 収集、積替保管(管理1課、2課)

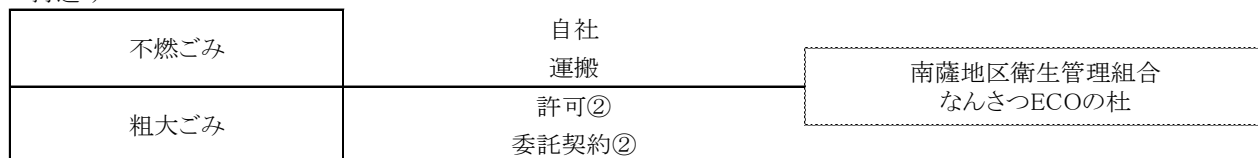


3. 一般廃棄物一時保管(環境リサイクル課)

持込



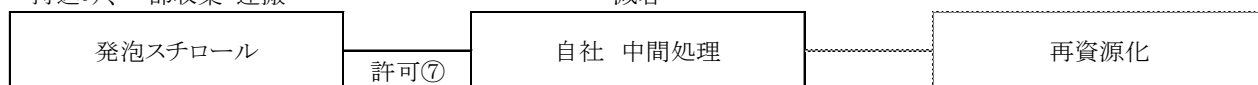
持込み



4. 産業廃棄物中間処理業(環境リサイクル課)

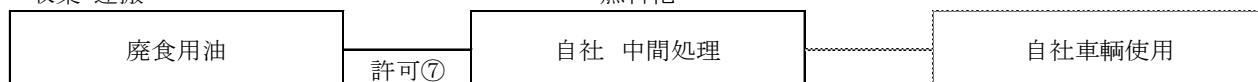
持込み、一部収集・運搬

減容



収集・運搬

燃料化



5. 一般廃棄物中間処理業(委託)(環境リサイクル課)

持込み



許可及び委託契約の内容

(ア) 一般廃棄物収集運搬業

許可の内容	許可区域	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
許可① し尿及び浄化槽汚泥	南さつま市（坊津町は秋目地区に限る）、南九州市川辺町、知覧町（永里川から北の地区）、日置市吹上町	南衛管指令第 10 号	2023 年 7 月 4 日	2025 年 7 月 3 日
許可② 可燃物、不燃物、粗大ごみ、事業系一般廃棄物、特定家庭用機器廃棄物	南さつま市加世田地域、大浦町の区域、笠沙町の区域、金峰町地域	南さつま市指令市生第 2 号	2022 年 7 月 1 日	2026 年 6 月 30 日

(イ) 浄化槽清掃業許可証

許可の内容	許可区域	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
許可④ 浄化槽清掃業	南さつま市（坊津町は秋目地区に限る）、川辺町、日置市吹上町、知覧町（永里川から北の地区）	南衛管指令第 1 号	2022 年 4 月 1 日	2026 年 3 月 31 日



(ウ) 産業廃棄物収集運搬業

許可の内容	許可区域	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
許可⑤ 産業廃棄物	鹿児島県	04619047588 号	2022 年 5 月 26 日	2027 年 5 月 25 日
許可⑥ 特別管理産業廃棄物	鹿児島県	04654047588 号	2023 年 1 月 8 日	2028 年 1 月 7 日

許可運搬車両	バキューム車	鹿児島 88 す 7134
	パワーゲート	鹿児島 100 す 9786
	ダンプ	鹿児島 100 さ 1046

許可の内容	許可区域	収集運搬する産業廃棄物の種類	積替え又は保管
産業廃棄物	鹿児島県	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残渣、動物のふん尿、水銀 以上 15 種類	有
特別管理産業廃棄物	鹿児島県	廃酸（水素イオン濃度指数 2.0 以下のもの）、廃アルカリ（水素イオン濃度指数 12.5 以上のもの）、感染性産業廃棄物 以上 3 種類	無し

積替え又は保管の内訳

所在地	鹿児島県南さつま市加世田村原字窪畑 3 6 6 8 番
面積	3 6 . 4 平方メートル
産業廃棄物の種類	汚泥、廃油
保管上限	2 0 立方メートル

(エ) 処分業

事業の区分	許可区域	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
許可⑦中間処理 (燃料化、減容)	鹿児島県	04625047588 号	2023 年 8 月 25 日	2028 年 8 月 24 日
事業の範囲	産業廃棄物の種類			
中間処理(燃料化)	廃油(廃食用油に限る) 以上 1 種類 (特別管理産業廃棄物であるものを除く)			
中間処理(減容)	廃プラスチック類(廃発泡スチロールに限る) 以上 1 種類 (特別管理産業廃棄物であるものを除く)			

施設

施設の種類	廃油の燃料化施設
設置場所	鹿児島県南さつま市加世田村原字窪畑 3 6 7 8 番
設置年月日	平成 15 年 7 月 1 日
処理能力	1 . 5 立方メートル／日

施設の種類	廃プラスチック類の減容施設
設置場所	鹿児島県南さつま市加世田村原字窪畑 3 7 0 8 番
設置年月日	平成 15 年 7 月 1 日
処理能力	0 . 4 8 トン／日

施設の種類	処理方式
廃油の燃料化施設	一般家庭及び事業所から集められた、廃食用油(植物性植物油)を、反応槽(第 1 槽)で(メタノール+カセイソーダ)と混合し、中和槽(第 2 槽)(洗浄水を中和します)を経て、洗浄槽(第 3 槽)(メチルエステルを洗浄します)から、濾過槽(製品タンク)にて燃料として使用されます。
廃プラスチック類の減容施設	集まった発泡スチロールを、2 3 5 ~ 2 4 5 ℃の熱風で熱減容処理をする。(燃料は灯油)。溶かされた発泡スチロールは、重さ約 1 5 kg のインゴットになる(1 5 分に 1 個)。製品は、文具品などのプラ製品や、溶鉱炉の補助燃料にリサイクルされる。

(オ) 委託契約

委託契約① 資源ごみ中間処理業務委託契約	
委託業務の目的	南さつま市(坊津町の区域を除く)で発生する資源ごみのうち空き缶類、空きびん類、プラスチック類の中間処理業務及び直接搬入される紙類、布類の一時保管
委託業務の期間	2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 3 1 日
委託業務の範囲	(1) 空き缶(スチール缶・アルミ缶)の選別・圧縮・保管業務 (2) 空きびん(無色透明・茶色・その他の色・生びん)の選別・保管業務 (3) プラスチック(ペットボトル・その他プラスチック)の選別・圧縮・保管及び発泡スチロールの減容業務 (4) 直接搬入される紙類、布類の一時保管業務

委託契約② ごみ中継保管業務委託契約	
委託業務の目的	南さつま市（坊津町の区域を除く）から直接搬入される可燃ごみ及び不燃ごみの受付、中継業務と日曜日に収集される不燃ごみの受付、選別、保管中継業務
委託業務の期間	2025年4月1日から2026年3月31日
委託業務の範囲	(1) 受付業務 ・ 搬入管理 (2) 中継業務 ・ 積込 (3) 選別保管業務 ・ 選別 (4) 処理残渣運搬業務 ・ 残渣運搬 ・ 料金徴収 ・ 運搬 ・ 保管 

(カ) 車両台数

車 種	台 数
大型バキューム（10t車）	4台
中型バキューム（7t車）	1台
中型バキューム（4t車）	7台
中型バキューム（3t車）	7台
小型バキューム（2t車）	1台
8tパッカー車	1台
塵芥車（4t車）	4台
2tダンプ	1台
中型ダンプ（4t車）	2台
SN車（濃縮バキューム車）	2台
パワフルダンパー（4t車）	1台
浄化槽管理車	27台
営業車両、役員車両	7台



(キ) 収集運搬許可車両一覧

機 種	数 量	車 両 種 類	台 数
普通特種	9,500kg	収集運搬車・清掃20号	2台
普通特種	9,800kg	合併収集車・清掃運搬車	2台
普通特種	7,000kg	給水24号	1台
普通特種	3,700kg	清掃22号・清掃予備車・給水26号・ 清掃21号・清掃23号・給水25号	6台
普通特種	3,600kg	給水27号・グリトラ号	2台
普通特種	3,000kg	収集1・2・3・4号	8台
小型特種	1,800kg	清掃予備車	1台
普通特種	2,540kg	濃縮汚泥車	1台
普通特種	1,610kg	濃縮汚泥車	1台

環境経営方針

基本理念

有限会社 南薩東京社は、「おかげさまで」をモットーに、「地域環境に貢献し、ひいては地球環境と共存すること」を経営理念とし地球環境保全に配慮しながら、経済的・技術的に可能な範囲で、企業活動を行う。

行動指針

当社は、基本理念の実現に向けて以下のことを行動指針とし、定期的に評価及び見直しを行い、継続的改善を行う。

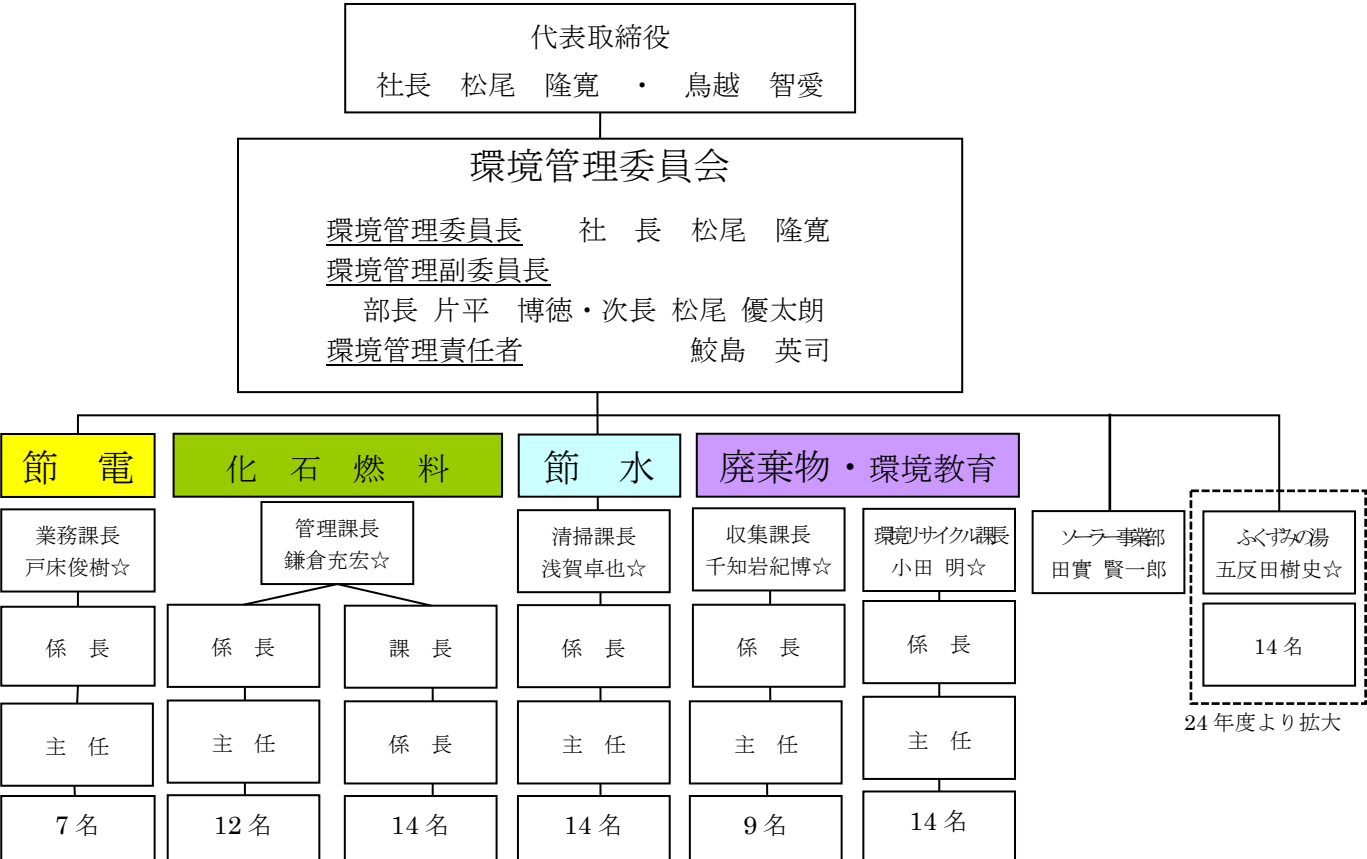
1. 社員一人ひとりが地域社会の一員として事業活動の中で地域・地球環境保全に配慮し、環境負荷の削減に努める。
 - ① 地球温暖化対策が人類共通の課題であることを認識し、ガソリン、軽油の効率的運転推進による化石燃料と電気エネルギーの削減に努め、温室効果ガス排出抑制を図る。
 - ② 一般及び産業廃棄物の収集運搬・処分、各種サービス等の企業活動において、減量、再利用、再資源化等を推進し、環境保全に役立てる。
 - ③ 水資源の有効利用に努める。
 - ④ 化学物質の管理を適正に行う。
 - ⑤ 廃食油の有効活用を積極的に行う。
 - ⑥ 施設見学依頼等の受け入れやリサイクル情報の発信を通して、地域社会の環境保全に貢献する。
 - ⑦ 太陽光発電の普及を通じて温室効果ガス排出抑制に貢献する
2. 環境関連法規や条例等を遵守する。
3. 環境方針を全従業員に周知すると共に社外に公表する。

2007年 3月15日制定
2013年 2月22日改定
2017年 2月17日改定
2023年 4月 1日改定

鹿児島県南さつま市加世田村原3700番地1

有限会社 南薩東京社
代表取締役社長 松尾隆寛

組 織 図



※ 各課の課長、係長を中心に部課長会に参加する者☆を環境管理委員会メンバーとする。

責 任 者	役 割
代表取締役	- 環境方針を策定、環境目標と活動計画を承認する。 - エコアクション 21(EA21)の実行に必要な資源(人・物・金)を用意する。 - 環境管理委員長を任命する。 - EA21 の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を行う。 - 環境活動レポートを承認する。
環境管理委員長	- 環境管理委員会を役職者会に合わせて開催する。(1月、5月、9月) - 環境管理責任者を選任する。 - 環境管理委員会及びEA21システム運用状況を社長に報告する。
環境管理副委員長	- 環境管理委員長を補佐する。 - 環境管理委員長からの指示を、環境管理委員に指示する。
環境管理責任者	- EA21システムを推進する。 - EA21システムの運用状況のとりまとめ及び環境活動レポートを取りまとめ公表する。
環境管理委員会 (各部課長で構成)	- 原則として、部課長会に合わせて年3回(1月、5月、9月)委員会を開催し、実施状況の確認と必要な措置を検討する。 - 主な環境活動計画の推進と実施状況の確認評価をする。
各課の担当	- 委員会での報告に必要なデータを毎月集計し、とりまとめる。 - 担当項目の環境活動計画を他の課に啓発し、実践する。
全従業員	- 環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告 - エコアクション 21 理解し、環境への取組の重要性を自覚する - 環境方針の理解と決定された環境活動に自主的・積極的に参加する

過去の実績および 2023 年度環境経営目標

2020 年度から 2022 年度までの実績を以下に示す。

項 目		2020 年度	2021 年度	2022 年度
		実績	実績	実績
二酸化炭素排出削減	単位			
電気使用量	kWh	65,520	64,482	54,471
自動車燃料の削減 軽油使用量	L	129,249	130,426	130,492
ガソリン使用量	L	29,160	30,027	30,540
全体の CO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	431,953	436,381	433,036
水資源投入量	m ³	2,197	2,074	1,993
廃棄物総排出量 取扱い廃棄物 リサイクル率	%	100%	100%	100%
・ 自社から排出される廃棄物	k g	2,030	1,930	1,970
グリーン購入率	%	95	96	80
化学物質の管理	回	12	12	12

過去の実績状況を踏まえ、2020 年度から 2022 年度の 3 年平均を基準値として中長期環境目標計画を策定した。

エコアクション 2.1 の取組も 18 年目となり、大幅に削減できる見通しはないので、削減目標については削減率を - 0.1% とし、現状に即した環境目標値を設定することにより、活動意欲につなげ達成を目指していく。電気使用に関しては、2022 年度に事務所 1F のエアコン買い替えに伴い、削減につながっているため、2022 年度を基準として少しでも削減できるように努めていきたい。グリーン購入率は、物価高騰によりグリーン購入が難しくなっているため、現状維持を目指し、紙資源以外にも品目数を増やしていきたい。

また、より取組やすくわかりやすくするために、二酸化炭素排出量は全体の量を把握し、排出量の大きい電気・燃料については、それぞれの単位における削減目標を設定することとした。取扱廃棄物に関しては受託して中間処理している産業廃棄物（発砲スチロール、廃食油）は全てリサイクルし、自社から排出される一般廃棄物の削減を目標とした。

項 目		2020-22 平均	2023 年度	2024 年度	2025 年度
		基準値	環境目標	環境目標	環境目標
二酸化炭素排出削減	単位				
電気使用量(2022 年基準)	kWh	54,471	54,417(-0.1%)	54,362(-0.2%)	54,308(-0.3%)
自動車燃料の削減 軽油使用量	L	130,055	129,925(-0.1%)	129,795(-0.2%)	129,665(-0.3%)
ガソリン使用量	L	29,909	29,879(-0.1%)	29,849(-0.2%)	29,819(-0.3%)
全体の CO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	433,790	433,336(-0.1%)	432,922(-0.2%)	432,489(-0.3%)
水資源投入量	m ³	2,088	2,086(-0.1%)	2,084(-0.2%)	2,082(-0.3%)
廃棄物総排出量 ・ 自社から排出される廃棄物	k g	1,977	1,975(-0.1%)	1,973(-0.2%)	1,971(-0.3%)
受託・中間処理産廃のリサイクル率。	%	100	100	100	100
化学物質の管理	回	12	12	12	12

※電気使用量の CO₂ 排出係数は、ナンプエナジーの 2017 年度排出係数 0.465kg-CO₂/kw を使用。

2023 年度主な環境活動計画及び取組み状況の評価

○：全員行った △：一部行えなかった ×：全く行えなかった

昨年度取り組み結果が○にならなかった項目★を強化し、以下の環境活動計画にそれぞれ取り組む

項 目	環境活動内容 ☆は 20 年度新規取組み	評価
		本社
二酸化炭素排出量	電気使用量	
	・ 事務所及びリサイクルセンターの電気等使わない場所はこまめに消灯	○
	・ 節電を周知し、待機電力をこまめに切る	○
	★ 温度計を活用しエアコン使用のルール化を図る	△
	・ 業務改善により残業をなくし、省エネ化につなげる	○
	・ 冷暖房設備使用の効率化を図る	○
	自動車燃料の削減	
水 資 源 投 入 量	・ アイドリングストップ「地球にやさしく経済的な運転」の強化	○
	・ 汚泥濃縮車による輸送回数削減	○
	ごみ回収・浄化槽管理ルートの見直し、走行距離の短縮	○
	水道の節水	
	・ スクリーン、計量BOX洗浄、台所の節水を強化する	○
	・ 浄化槽清掃後の水張りは、処理水を利用する	○
	★ 各車両の洗車時は、バケツに給水し洗車する	△
廃 棄 物	・ 火山灰除去による洗車方法を検討&改善を行う	○
	関連事業所へ節水の協力を依頼する	○
	可燃、最終処分量の削減	
	・ 消毒剤の入った段ボール等はリサイクル処分する	○
	・ 薬品ビニール袋を再利用	○
	・ 清掃用具を長持ちさせ廃棄物を減らす	○
	・ 事務所からの廃棄物は、分別回収を徹底し再資源化を図る。	○
グリーン購入率	メモ用紙として再利用する	○
	・ 用紙類は 100%グリーン製品を購入する	○
化学物質の管理	★ グリーン購入できる事務用品の品目を増やす	○
	化学物質管理チェック表を作成し、毎月 1 回定期的にチェックを行う。	○
環境配慮項目	受託した産業廃棄物の再資源化の推進	○

2023 年度環境負荷の詳細な実績と評価

節電・グリーン購入



業務課長 戸床 俊樹さん

エアコンの改修後、今年度は暑い日が続き、冬は雪が積もるほどの寒さである気候変動によりエアコン使用を余儀なくされたため、使用量が増加してしまった。しかし、必要最低限の使用であるため、目標を少し上回ってしまった。しかし、電気事業所との契約も地元の自然エネルギーを使用している事業所へ変更し、排出量を0にすることができた。

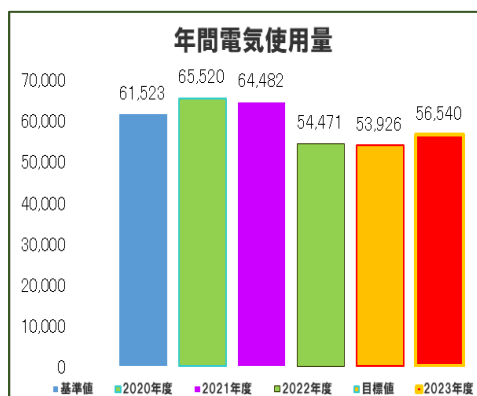
今年度のグリーン購入は、特に大きな組織変動等があったこともあり、目標を達成することができた。購入時は、常にマークを意識して購入できている。紙以外のグリーン購入も行っているが、常に購入するわけではないため、目標設定はできないが意識して購入していく。



仕切り戸を活用し温度調整している



誰もいない時の消灯の徹底



回収した廃食油を重機や車両で使用

リサイクルセンター
(缶やペットボトルを分別・圧縮)

回収した廃食油は BDF 化し、車両や重機で使用し、定期的回収ルートの見直しや効率の良い回収方法の検証など、削減対策を行っている。しかし、人口は減少しているが、世帯数が増加しているため、浄化槽点検の件数は、年々増加している。それに合わせて、軽油・ガソリン使用量も年々増加しており、削減することが困難である。費用対効果も含め、燃料高騰などの状況も踏まえ、みんなで知恵を出し合い、少しでも燃料削減に努めていきたい。

管理1課長 鎌倉 充宏さん



燃
料

項 目		2020-22 年度平均	2023 年度	
		基準値	環境目標	年間実績
二酸化炭素排出削減				
・電気使用量(2022 年基準) 本社	kWh	54,471	54,417(-0.1%)	56,540(+3.8%)
電気使用における CO2 排出量	kg-CO ₂	0	0(-100%)	0(-100%)
・自動車燃料の削減 軽油車両使用量	L	130,055	129,925(-0.1%)	125,510(-3.5%)
ガソリン使用量	L	29,909	29,879(-0.1%)	31,768(+6.2%)
全体の CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	413,448	413,035(-0.1%)	397,685(-3.8%)
受託・中間処理産廃のリサイクル率	%	100	100	100

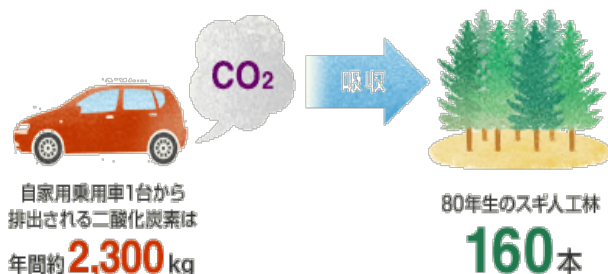
※電気使用量の CO₂ 排出係数は、2022 年 6 月契約の(株)ワットの 2023 年度排出係数 0.000kg-CO₂/kw を使用。

太陽光発電による CO₂ 削減

2013 年 8 月に当社敷地内に 500kWh のメガソーラーを設置し、更に地域のエネルギー削減に貢献しています。

2017 年度から吹上発電所も新たに 500kWh のソーラーを開設し更に CO₂ 削減に貢献している。

スギ1本(樹齢80年)が1年間に吸収する二酸化炭素量 = **14kg**

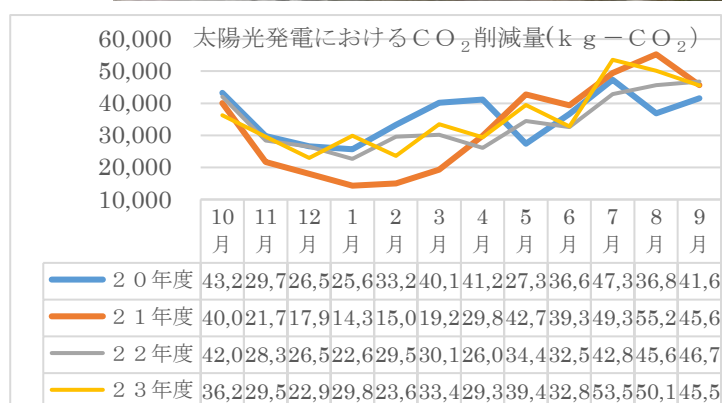


出典：林野庁「身近な二酸化炭素排出量と森林（スギ人工林）の二酸化炭素吸収量」

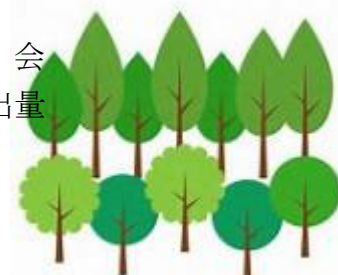
2023 年度は、年間 426,706kg-CO₂ に相当する太陽光発電を売電したため杉人工林に換算すると

30,479 本の杉の木に相当する CO₂ 排出量削減に貢献したこととなる。

※電気使用量の CO₂ 排出係数は、売電している九州電力の 2024 年度係数 0.402kg-CO₂/kw を使用した。



吹上発電所の故障も改修され、例年通りの発電量になってきた。また、会社全体の総排出量は、排出量 0 の電気事業所と契約したことにより排出量 0 を達成できた。



水資源投入量

項 目	2020－22 年度平均	2023 年度	
	基準値	環境目標	年間実績
水資源投入量 (m ³)	2, 0 8 8	2, 0 8 6 (-0.1%)	2, 0 2 4 (-3.1%)



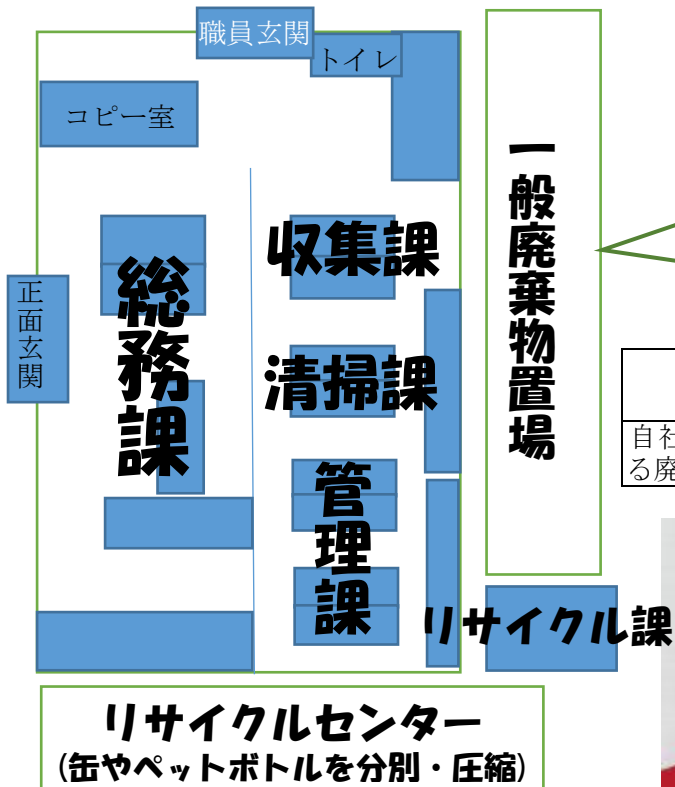
洗車はバケツを活用



今年度は、目標よりも大幅に削減することができた。一人一人が日頃の生活の中で、節水をこころがけたことが結果に結びついてきたと思われる。いろいろな物が値上がりしているご時世なので、少しでも削減できるような目標を設定し、これからも衛生管理も考慮しながら、みんなで協力して削減に努めていきたい。

清掃課長 浅賀 卓也さん

廃棄物総排出



項 目	2020-22 年度平均	2023 年度	
	基準値	環境目標	年間実績
自社から排出される廃棄物	1,977kg	1,975kg (-0.4%)	1,960kg (-0.9%)



収集課長 千知岩紀博さん
今年度は、昨年同様個人情報等の書類廃棄量や個人が排出するゴミが少なかったため、目標を達成できた。この調子で、個人のゴミも分別を徹底し、ゴミではなく資源として活用できるように努めていきたい。また、回収した廃食油は BDF に精製して活用している。

環境教育活動



環境リサイクル課長 小田 明さん
本年度は、見学者がコロナ前と同様に多くの方に見学に来ていただきました。感染対策を十分に行い、出来るだけ多くの方に今後も見学に来てもらえるようにしていきたい。
また、浄化槽の勉強会を開催したり、鹿児島県環境協会主催の講習会に参加するなど、多くの従業員が積極的に参加し社内教育を充実出来た。今後も社内の教育計画をたて、出来るだけ多くの学習会に参加していきたい。

化学物質の管理

項 目	2020-22 年度平均	2023 年度	
	基準値	環境目標	年間実績
・化学物質の管理	12 回	12 回	12 回



保守点検中

保守点検表に合わせて、チェック表を作成し保管管理において適正に毎月1回チェックを行った。
今後も引き続き定期的にチェックを行い適正に管理する。
管理2課長 永田 亮さん



地域社会貢献活動



今年度は、子ども達と一緒に海岸清掃を行いました。また、子供たちの登下校の見守りボランティアを実施できました。今後も地域の人達とのつながりを大切に、子供たちの未来を大切にしていきたい。

見守りカメラ

浄化槽の清掃、点検等で地域を周ることが多いため、地域での事故防止や交通安全のために、すべての車両にみまもりカメラをつけています。

警察とも連携して活動を行っています。



会社受賞歴

- 2002 年 鹿児島県知事表彰（生活環境改善事業功労）
環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰（浄化槽関係事業功労）
- 2004 年 環境大臣表彰（生活環境改善事業功労）
- 2011 年 警察庁長官・全日本交通安全協会会長表彰
（交通栄誉賞緑十字銀章）
- 2015 年 藍綬褒章受章
- 2022 年 朝日小綬章受章



SDG s に参加しています



世界で取組が行われている持続可能な開発目標（SDGs）に当社の専門を活かし取組を行っています。17 の項目のうち、昨年度の4つ（6・7・13・14）から、2つ（5・8）を追加して、6つの取り組みを主に行っています。



6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



14. 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

50年前に当社が目指した取組が世界とつながってきました。当社の全ての活動がこの目標につながっています。



エコアクション21の取組も18年目になります。太陽光発電事業・販売を行い、電力も地域のクリーンエネルギーを使った業者から購入しています。それにより、自社の取組だけではなく地域のクリーンエネルギー活用にも貢献しています。今後は、自社から排出するCO₂排出量をもっと削減できるように努め、地域の削減につなげていきたい。



7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



13. 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



8. 働きがいも経済成長も
すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

性別に関係なく、能力を考慮した人事を行っています。また、定年の年齢枠を広げ、経験を活かした人材育成を行っています。合わせて、社内の陸上部や野球部などの活動にも支援を行っています。



関連法規の違反・訴訟など



法的義務を受ける主な環境関連法・条例等は以下の通りです。

法令・条例名	該当する設備・項目	要求事項
浄化槽法	浄化槽保守点検業	許可証・点検記録
	浄化槽清掃業	許可・清掃記録
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業 一般廃棄物中間処理業 産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物中間処理業	許可・保管表示 委託契約・マニフェスト発行・管理
騒音・振動規制法	送風機・圧縮機・破砕機	指定地域において区域別時間での基準を超えない
悪臭防止法	し尿処理場	定期検査
毒物及び劇物取締法	BDF 精製用メタノール・苛性ソーダ	施錠、飛散、漏れ、流出、誤飲等の防止措置 容器表示、保管場所表示 事故時の届出
自動車リサイクル法	自動車	新車購入時
フロン排出抑制法	空調機（7.5Kw 以上なし）	自主簡易点検 廃棄時適正処理
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫・洗濯機	廃棄時適正処理 リサイクル料支払い
改正リサイクル法	パソコン	廃棄時メーカー引き取り
グリーン購入法	事務用品	購入時出来る限り環境配慮製品購入 地方自治体に適用
消防法	BDF 精製機・メタノール・合成樹脂	少量危険物・指定可燃物の取り扱い・貯蔵届出・表示

環境関連法規等の遵守・評価した結果、違反はありません。また、行政や住民からの指摘・訴訟などはありませんでした。（2024 年 6 月 19 日）

代表者による全体の評価と見直し

私がここ数年最も気になっていることが、異常気象です。ここ1400年で最も暑くなっているそうです。大雨、洪水、熱波、干ばつなど自然災害という身近なリスクやそれに伴う経済損失も増えております。

「より良いくらし」と「持続可能な地球環境」を両立させる為に私たちはカーボンニュートラルの実現に挑み続けていきたい、いかなければならないと思っております。

私たちが日々行っている仕事、生活環境の基礎である廃棄物処理や浄化槽の維持管理、これもこのカーボンニュートラルの一役を担っております。次世代に美しい自然を残すため、先人たちがやってきたこの仕事を、今一度 私たちが一丸となって取り組んでいきたい。お客様のニーズに合った技術・サービスを提供し続け、仕事に邁進し続けたいと思います。

私達の仕事は、地域の沢山の方々に支えられながら出来ております。あらゆる場面において、みんなで問題視し、共有することで一人ではない事、皆で解決策を探りながら進んでまいります。社訓「おかげさま」の気持ち・感謝を忘れることなく進んでまいります。

エコアクション21の取組も今年で18年目となり、温泉部門も通じて地域の方々へ貢献するため、環境目標を以下のように見直し、「未来の子ども達に美しく豊かな地球と生活環境を残していくために今できること」を少しずつでも実践することで、地域に愛され、求められる会社として邁進してまいります。

代表取締役社長 松尾 隆寛



2024年度以降の環境経営目標

本社の環境目標は2022年度に作成した通りで取り組みを進めていく。しかし、ふくずみの湯の環境目標を見直していきたい。ふくずみの湯は、温泉施設ということもあり、電気と水資源の使用量は、使用人数あたりを基準値として0.1%削減できるように取り組んでいきたい。お客様にも取り組みに協力いただけるよう呼びかけていきたい。

項 目		2020-22 平均 基準値	2023 年度 環境目標	2024 年度 環境目標	2025 年度 環境目標
二酸化炭素排出削減	単位				
電気使用量本社(2022年基準)	kWh	54,471	54,417(-0.1%)	54,362(-0.2%)	54,308(-0.3%)
電気使用量ふくずみの湯	kWh/人	測定中	-0.1%	-0.2%	-0.3%
自動車燃料の削減 軽油使用量	L	130,055	129,925(-0.1%)	129,795(-0.2%)	129,665(-0.3%)
ガソリン使用量	L	29,909	29,879(-0.1%)	29,849(-0.2%)	29,819(-0.3%)
全体のCO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	433,790	433,336(-0.1%)	432,922(-0.2%)	432,489(-0.3%)
水資源投入量(本社)	m ³	2,088	2,086(-0.1%)	2,084(-0.2%)	2,082(-0.3%)
水資源投入量(ふくずみの湯)	m ³ /人	測定中	-0.1%	-0.2%	-0.3%
廃棄物総排出量 ・自社から排出される廃棄物	kg	1,977	1,975(-0.1%)	1,973(-0.2%)	1,971(-0.3%)
化学物質の管理	回	12	12	12	12

※電気使用量のCO₂排出係数は、2022年6月契約の㈱ワットの2023年度排出係数0.000kg-CO₂/kwを使用。

2024 年度主な環境活動計画及び取組み

昨年度取り組み結果が○にならなかった項目★を強化し、以下の環境活動計画にそれぞれ取り組む

項 目	環境活動内容
二酸化炭素排出量 (本 社)	電気使用量 ・ 事務所及びリサイクルセンターの電気等使わない場所はこまめに消灯 ・ 節電を周知し、待機電力をこまめに切る ★ 温度計を活用しエアコン使用のルール化を図る ・ 業務改善により残業をなくし、省エネ化につなげる ・ 冷暖房設備使用の効率化を図る 自動車燃料の削減 ・ アイドリングストップ「地球にやさしく経済的な運転」の強化 ・ 汚泥濃縮車による輸送回数削減 ・ ごみ回収・浄化槽管理ルートの見直し、走行距離の短縮
二酸化炭素排出量 (ふくずみの湯)	電気使用量 ・ 節電を周知し、待機電力をこまめに切る。 ★ 温度計とお客様の意見を参照にし、温度設定を行う。 ・ 自販機等の冷暖房設備使用の効率化を図る。 燃料の削減 ・ お客様の利用時間や時期を考え、サウナやボイラーの稼働時間を設定するなど、お客様に負担なく削減できる方法を検証する。
水 資 源 投 入 量 (本 社)	水道の節水 ・ スクリーン、計量BOX洗浄、台所の節水を強化する ・ 浄化槽清掃後の水張りは、処理水を利用する ★ 各車両の洗車時は、バケツに給水し洗車する ・ 火山灰除去による洗車方法を検討&改善を行う ・ 関連事業所へ節水の協力を依頼する
水 資 源 投 入 量 (ふくずみの湯)	水道の節水 ・ お客様の満足度を高めつつ、節水協力をお願いする。 ・ ブラシを活用するなど、清掃時の水使用削減を工夫する。
廃 棄 物	可燃、最終処分量の削減 ・ 消毒剤の入った段ボール等はリサイクル処分する ・ 薬品ビニール袋を再利用 ・ 清掃用具を長持ちさせ廃棄物を減らす ・ 事務所からの廃棄物は、分別回収を徹底し再資源化を図る。 ・ メモ用紙として再利用する
化 学 物 質 の 管 理	化学物質管理チェック表を作成し、毎月 1 回定期的にチェックを行う。
環 境 配 慮 項 目	受託した産業廃棄物の再資源化の推進

